

労働基準監督官

岸川 航

平成31年4月 任官



労働基準監督官を志望した理由を教えてください

大学生の頃、就職先を検討する中で民間企業の他に公務員試験も受験しようと思い、理系学部でしたので理系の知識を活かせる仕事として監督官試験を受けることにしました。

監督官試験を受ける前にも、ある程度の業務内容は把握していましたが、一次試験に合格してから業務説明会に参加する等して、より詳しく業務内容を調べました。

民間企業からも内定を頂きましたが、親族等の話から労働問題が身近な問題であると感じていましたし、働く人を支えることが出来る労働基準監督官の仕事に魅力を感じ、監督官を選択しました。

現在の仕事内容について教えてください

現在は、労働基準監督署の安全衛生課に所属しています。安全衛生課の仕事は、事業場に立ち入り機械装置が法令の基準に適合しているか等の確認や指導業務、クレーン・ボイラー等各種機械の検査業務、各種届出を基にした審査業務等があります。その他にも集団指導と言って、法律や規則が改正された時に、事業場関係者に改正内容等を周知する活動も行っています。

安全衛生の業務に対して、工場等に立ち入り検査等するイメージがあるかもしれませんが、快適な職場環境を整えるための周知活動、府や市、各種団体と連携して災害防止対策に関する啓発活動等も行っています。

現在の仕事の魅力は？

安全衛生業務は事業主や機械装置等のメーカーの方と接する機会が多いので、事業主の立場を聞くことや、機械装置等の専門的な話しを聞くことが多いと感じます。

そういった意味で、幅広い経験や専門的な知識が得られるところが魅力だと思います。

印象に残っている出来事等あれば教えてください

機械に巻き込まれる災害により、重い後遺障害が残るほどの怪我をされた事案がありました。現場での災害調査の際、事業場担当者に対して、人間は不注意やミスを起こすものであり、機械の本質的な対策を講じる必要があると指導を行い理解を得ることができました。

起こってしまった災害は戻りませんが、今後同様の災害がなくなることで、少しでも不幸な思いをする労働者がなくなればという気持ちで業務に当たっています。

他局の勤務経験はいかがでしたか？

入庁後3年目と4年目の2年間、採用された労働局以外の労働局で勤務を経験することになっています。

他局での勤務を経験して、産業の違いや地域の特性、また気候も異なるので、仕事だけではなくプライベートでも知識の広がりや様々な経験が得られ、とても充実した2年間でした。また、それと同時に私はお酒が好きなもので、京都に戻ってきて、京都の食文化やお酒文化の良さを改めて感じました。

監督官を目指す方へのメッセージをお願いします！

私の場合は、監督官試験は就職先を検討する中で、併願先の一つとして受験し、一次試験に合格してから監督官になりたいという気持ちが高まりました。

仕事を知ったり魅力に気づくタイミングは、人それぞれだと思いますので、公務員試験の受験を検討されている方は、併願先の一つという形でも良いので、労働基準監督官採用試験を受けてみてはいかがでしょうか。

京都労働局へ入庁された際は、私もサポートしていきますので、ぜひ一緒に頑張りましょう！